



白萩

学校だより「しらはぎ」

令和5年 9月号

あきる野市立増戸中学校

編集：副校長 中山 恵施

笑顔で2学期を

校長 木下 美彦

思い立って、五日市郷土館の企画展に行ってみました。現在、「大正の大地震」―戸倉小学校に残されていた関東大震災の記録―の特別展示を開催しています。子供の感想文が保管されていました。お昼の食事をしていたら、たまげた。弟が泣いてしまった。外に出たら丸太が転がってきて怖かった。桑畑に逃げた。楽しみにしていたお祭りがなくなった、など。流言飛語で大人が動揺している様子、豆や米を炊いたり餅を支援したことなど、その後の様子も子供の視点と表現で書かれています。率直な言葉で書かれた作文を当時の教職員は、大事にされていました。作文を読むと状況を想像でき、当時の様子が分かる貴重な資料です。(戸倉小学校は平成26年に閉校し、現在は観光施設「戸倉しろやまテラス」となっています。)



興福寺チェックにて

8月30日の始業式で伝えました。関東大震災から100年となる9月1日前後の期間に新聞などマスコミでは様々な報道や特集が組まれます。現在私たちの防災力は、向上しています。100年という機会に改めて、この巨大地震とその後の歴史について学び、学校防災や地域防災の自覚を高めたい。防災のみならず、今学期は、ぜひ物事を主体的に考え、学び・行動する学期を送ろうと結びました。

4日(月)からの3日間は、第3学年の修学旅行。奈良・京都の街を歩きました。心配された台風の影響も少なく、感染や暑さの対策を考慮した班行動を実施することができました。班員でのコース作りや事前学習したことが、確認できれば良かったと思いますし、今回、実際に見学・体験したことが、これからの生活や学習の動機付けになっていけたらと思います。疲れながらも、宿舎に戻ってきた生徒たちの笑顔が印象的です。修学旅行の経験を次の行事や日常の授業、進路選択に生かしていくことに期待します。

増戸中生は、諸活動で自主的な場面を多く見せてくれます。さらに自分の意思で主体的に学んでいくことに挑戦させたいです。目ざすところを高くもち、学校では今後も、主体性を引き出せるような指導・支援を進めます。

2学年は20～22日の職場体験、1学年は25・26日の福祉施設体験に向けて、すでに事前訪問も終え、準備は整いつつあります。生徒会本部役員の改選もあり、生徒会活動の中心も、いよいよ1・2学年に移行していきます。自己の成長と他者との協調を図る教育環境を維持できるよう努めます。

28日(木)は、震災発生等に伴う引き渡し下校訓練を実施します。防災について考え、

行動できる9月にしたいと思います。祭礼など地域での活動もコロナ以前に戻りつつあります。

生徒・関係の皆様が、笑顔の2学期になるよう、御理解と御協力を、どうぞよろしくお願いいたします。



宿舎より出発



事前訪問 出発チェック